総務産業常任委員会

1月17日と2月12日に開会された「総務産業常任委員会」の概要についてお知らせします。

1月17日

地域政策課関係

○バス・乗用車キャンペーン事業の実績について、乗用車キャンペーン事業として9百30台、前年比9台の減、バスキャンペーン事業は2百19台で前年比53台の減、との報告がありました。

○ムーンライトマラソンについて、6月14日にフルとハーフによる大会を開催する。13日には前夜祭、14日には後夜祭を行い、参加費1万円で参加料、前後夜祭の食の提供代も含まれる。総予算は1千9百万円を予定している、との説明がありました。

○地熱発電について、1月26日から29日まで16人による大分県の地熱発電所の視察を行いたい。地熱開発促進事業による国の予算で必要経費は充当する。

○定住自立圏協定について、函館市を中核とする道南市町村が参加する、定住自立圏協定の締結について、議会の議決を必要とすることから、3月議会に提案したい。当面はドクターヘリの運行が先行してのものになる。

住民課関係

○国保税の収納及び滞納状況について、国保税の収納状況について説明があり、平成25年度の実績として1月10日現在、64・26％である。平成25年度において、奥尻町単独による差し押さえの実績は不動産1件、預貯金4件、国税還付金19件で合計63万2千2百円である。

○町税不能欠損処分について、死亡9件、居所不明20件、生活保護・自己破産32件、倒産・解散32件などによる欠損処分を昭和48年から平成23年度分までとして、総額2千1百80万円を行うことにしました、との説明がありました。委員から、不能欠損を出すというのは、事務的には安易なことではないのかとの指摘に、「死亡や不明で既に時効を迎えているもので平成15年以降不能欠損処理をしていないものの整理である。今後は正当な形で毎年行っていきたい」との答弁がありました。

国民健康保険証の停止は何件かあるのか、との問いには「保険証の停止は4件で納税相談には来てくれない、連絡しても無視している。短期のものは19件ある」との回答。

○ドクターヘリについて、平成27年1月から導入され、1機種で当面は夜間のみの運行になる。

2月12日

企業管理課関係

○平成26年度バス事業運行時間帯の統一について、

1．平成26年度のバスの運行時間帯について、神威脇からの時間帯を変更する。1月から4月まで神威脇と米岡地区からの8時15分のフェリーの接続については、奥尻空港か青苗地区からの乗車でなければ接続できなくなる。青苗方面からは、土日祝日は8時15分のフェリー接続は不可能になる。との説明がありました。青苗地区からの接続については町内会への説明が必要との意見が出されました。（青苗地区からの接続は可能になりました）

2．奥尻小学校の統合によるバス停の名称変更について報告がありました。

3．自動車整備工場の収支予算に関わる説明がありました。

委員から、整備工場への車検を受けて欲しいとの要請を強めること、島内における車両台数をきちんと把握しておくこと、の意見が出されました。